



# 川東小だより

第1号

令和5年4月15日

新発田市立

川東小学校

## 創立10周年目の年に思う

校長 岡崎 功一

令和5年度がスタートしました。7日には入学式がありました。真新しいランドセルを背負い、新1年生21人が入学してきました。入学式の新1年生呼名では、名前を呼ばれると一人一人が元気よく「はい」と返事ができました。元気いっぱいの姿を見せてくれました。これから始まる学校生活に希望と期待で胸を膨らませているという様子が伺えました。また、6日には新任式、始業式がありました。子供たちも新年度が始まり、一つずつ学年が上がり教室も変わりました。学級によっては、新しい先生との出会いがありました。子どもたちの張り切っている様子が見られます。よいスタートがきれたと感じています。

さて、川東小学校は、今年度10周年の年にあたります。10年前に、竹俣小学校、車野小学校、旧川東小学校が統合されて創立されました。統合当時は、先人の方々のいろいろなご苦勞もあつたことでしょう。先人の方々が築き上げてきたよき伝統を継承し更なる飛躍を誓う年にしたいと考えています。

私は、川東小に赴任してから3年目を迎えますが、川東小学校の子どもたちには良いところがたくさんあると思っています。この2年間、子どもたちの様子を見ていて良いところだなと感じたことは、次のとおりです。このことについては、『川東小学校のよき伝統』ということで、今までに子どもたちにも全校集会等で、伝えてきました。また、是非、引き継いでほしいという話もしてきました。以下に紹介します。

### 一昨年度の3学期終業式で話したこと

- 1 休み時間は、グラウンドや前庭で元気よく思い切り遊んでいる
- 2 コロナ禍であっても思いやりの気持ちをもって行動できる
- 3 清掃をしっかり頑張っている



### 昨年度の3学期終業式で話したこと

- 1 なかよし班(全校縦割り班)で、仲良く活動している
- 2 学校行事(運動会や文化祭等)に一生懸命に取り組んでいる
- 3 落ち着いて学習に取り組んでいる

このような態度、心構えは、普段から心がけていなければ身に付きません。一朝一夕には、育まれませんが、この培われてきた伝統(良いところ)を継承し更に飛躍していきたいと思ひます。

新型コロナウイルスも5月に第五類に引き下げられます。今年は、この3年間の教育活動とはまた違った形で教育活動を進めることとなります。今年度も川東小学校の子どもたちの健全な育成に向けて、各ご家庭、地域と連携しながら教育活動を進めていきたいと思ひます。ご理解ご協力をよろしくお願ひいたします。

☆ 学びの合い言葉は、「夢や目標」に向かってチャンス・チャレンジ・チェンジです。

☆ 生活の合言葉は、いじめ・差別をしない、ゆるさない、やさしい川東っ子です。